

学位論文審査結果の要旨

令和 7 年 2 月 15 日

学位論文題目： Evaluating Integrative Medicine in Japan:
A Social and Medical Model Perspective

学位申請者 鍾慧于

審査委員 主査 新井一郎 
副査 袴塚高志 
副査 山路誠一 

本研究は、我が国における統合医療の実態を、医療系大学における教育実態、地方自治体における一般市民向けプログラムの2つの側面から分析し、今後の我が国における統合医療政策の在り方を提言した価値のあるものである。

我が国においては、統合医療のほとんどは国家資格もなく、野放しの状態である。そのため、厚生労働省は、2012-2013 年にかけて「統合医療」のあり方に関する検討会」を組織し、2013 年 2 月 22 日に「これまでの議論の整理」という文書を発表した。これが、現在のところ、わが国の最新で公式な統合医療政策ということになる。この文書においては、統合医療を「近代西洋医学を前提として、これに相補・代替療法や伝統医学等を組み合わせて更に QOL (Quality of Life : 生活の質) を向上させる医療であり、医師主導で行うものであって、場合により多職種が協働して行うもの」と定義した。この定義から 10 年以上を経過するが、本研究の目的は、この定義にそった施策が、現在のわが国で実施されているかどうかを検証することであった。方法としては、①この定義を実施可能な教育が医療者に対して行われているかどうか、②この定義にそった医療が実際にわが国で行われているかどうか、の2つの側面から明らかにしようとしたものである。

まず、医療者の教育に関しては、統合医療の中の「漢方」に関してだけは、完全ではないものの最低限のことが行われていることが、医療者教育のためのコアカリキュラム調査、医療教育機関のシラバス調査で明らかになった。しかし、それ以外の統合医療に関しては、定義にある「医師」や「協働する多職種」に対して、ほとんど教育が行われていないことを明らかにした。すなわち、厚生労働省の定義は、現時点では実現不可能なものと言える。本研究は、統合医療を実現するためには、医療者の教育方法を変更するするか、もしくは、「医師主導」というわが国の統合医療の大前提を変更する必要があることを示したものである。

次いで、本研究では、地方自治体における統合医療の実態を、記録された自治体ホームページを1件1件見て情報を収集・分析することで明らかにした。これは、我々が日頃目にする地方自治体でのヨガ教室のようなものが、日本全国でどの程度行われており、また、誰がどのような主旨で行っているかを明らかにするための研究である。結果は、多くの日本の地方自治体で、税金を使って、「医師」や「協働する多職種」によらない統合医療プログラムが多数行われており、また、それらは、科学的に根拠のない目的をうたっているものが多いという実態を明らかにした。

幸い、それらには危険な行為は少なかったが、「医師主導で行うもの」という硬直的な統合医療の定義ではおさまらないものが、現実には多数行われていることが明らかになった。

以上、本研究は、厚生労働省が決めた統合医療の在り方は、その後、それを実現するための施策が行われておらず、また、公的機関でこの定義によらない統合医療が多数行われていることを明らかにすることで、今後の我が国の統合医療政策に一石を投じた。米国をはじめとするいくつかの国では、統合医療のよい面だけを医療に取り入れ、そうでない部分は、消費者に使わないように警告するという政策をとっている。この研究は、統合医療の多くの国の統合医療の状況も調査・考察して上で、我が国でも、そのような政策が必要であることを明らかにした価値の高いものである。

これらの結果は英語で2つの学術雑誌に投稿され、査読対応も適切に対応して上で掲載された。また、これに先立ち、2つの国際学会発表において、英語でオーラル発表を行い、座長からの質問にも適切に答えられている。

Hui-Yu Chung, Motoki Yuasa, Fu-Shih Chen, Ichiro Arai. The status of education for integrative medicine in Japanese medical universities. The 6th Asian Association of Schools of Pharmacy (AASP) Pharmacy Education Forum. Jul 31, 2021, On Line..

Hui-Yu Chung, Masaki Moroi, Yasutaka Hojo, Fu-Shih Che, Ichiro Arai. Investigating Integrative Medicine Health Promotion Programs in Japanese Local Governments. The 10th Asian Association of Schools of Pharmacy (AASP) Conference. Jul 31, 2022, On Line..

学位論文発表会における発表、質疑応答も的確であったと評価できる。

以上のことから、申請者は、今後、薬学研究者として、自立して研究を計画・実施・報告できる能力を有していると考えられるため、薬学（博士）に値すると判断できる。